



吉敷の木
「もみじ」



吉敷の花木
「うめ」



吉敷の草花
「マリーゴールド」



吉敷の草花
「サルビア」

ふるさとだよ

よしき

FURUSATO DAYORI YOSHIKI

2016

7

No. 724



「校長先生これメスかな～」
ゲンジボタル採取



市民体育大会へ出場決定
親睦グラウンドゴルフ大会



リズムに合わせて健康づくり
チャレンジデーin吉敷

C O N T E N T S

【地域のチカラ】

地域づくり協議会..... 2

インフォメーション..... 4

レポート..... 6

【シリーズ偉人②】

所都太郎の偉大な人物像..... 7

【よしきで輝く】

吉敷アロハフラ(フラダンス)..... 8

かけはし..... 8

YOSHIKI
DATA

【人口】14,795(前月比 -30) 【世帯数】6,056(前月比 -7)

平成28年6月1日現在



吉敷地区地域づくり協議会

「地域のチカラ」のコーナーでは、自治会や子ども会、老人クラブなど、吉敷地区を支える各団体から情報を発信していきます。

地域づくり協議会は、「笑顔あふれる ふれあいのまち」の実現に向けて、地域課題の解決のために、各自治会・町内会をはじめ地域で活動している多くの団体が連携するとともに、地域の皆さんの参加を得ながら、様々な事業や行事などに積極的に取り組んでいる組織です。

地域づくり協議会の活動

協議会は、地域の皆さんや関係団体とともに策定した「地域づくり活動計画」に基づき、市の地域づくり交付金を主な財源として、様々な活動を展開しています。

また、この計画は、地区社会福祉協議会の「地域福祉活動計画」と一体的に策定しており、計画期間が平成29年度までのため、今後、地域の皆さんや関係団体と連携を図りながら、次期計画の策定に向けた素地づくりを進めていきます。

事務局の体制

協議会の事務局は、自治会、地区社協、放課後児童クラブ「もみじ学級」、高齢者生きがいセンター「げんきやかた」の事務局も兼ねており、また、地域交流センターの事務補助業務も受託していることから、財源を協議会に集約して一体的な運営を行っています。これは、他地区にはない、吉敷地区の大きな特徴と言えます。

平成28年度 事業計画・予算

〈収入の部〉

(単位：円)

項 目	予 算 額	内 訳
地 域 づ くり 交 付 金	11,902,000	事業費6,694,000 人件費4,106,000 事務局運営費1,102,000
地域づくり特別交付金	713,000	事業費713,000
繰 入 金	4,702,000	自治会(事業費670,000 人件費649,000 事務費581,000) 地区社協(事業費250,000 人件費1,228,000 事務費300,000) 地域交流センター運営協議会(人件費974,000 事務費50,000)
合 計	17,317,000	

〈支出の部〉

(単位：円)

分 野	内 容	予 算 額
地 域 振 興	ふれあいあいさつ運動、ふれあい標語	100,000
	ふるさとだよりよしき発行、ウェブサイト運営(写真①)	400,000
	成人式思い出づくり	200,000
	人材発掘のための交流の場づくり(写真②)	278,000
	地域づくり活動計画の策定に向けた素地づくり	
地 域 福 祉	多世代交流グラウンドゴルフ大会、親睦ゴルフ大会等の開催(写真③)	450,000
安 心・安 全	単位自主防災組織の立ち上げ(写真④)	80,000
	子どもと高齢者の見守り活動(写真⑤)	
環 境 づ くり	法定外公共物の整備	2,010,000
	カーブミラー、交通安全施設の充実(写真⑥)	600,000
	ホテルが飛び交うふるさと吉敷(写真⑦)	150,000
	吉敷川の環境整備(写真⑧)	
地 域 個 性 創 出	夏まつり、ふるさとまつり等の開催(写真⑨)	950,000
	地域散策ガイドブック・散策マップの作製(写真⑩)	1,337,000
	郷土学習講座の開催	
	各地域活動団体の支援	752,000
	各協議会の支援(写真⑪)	880,000
	旧出張所・公民館跡地活用の検討	50,000
	観劇鑑賞交流の場づくり	90,000
協 議 会 運 営	事務局人件費(事務局長1名、事務局員4名)	6,957,000
	事務費、法定福利費等	2,033,000
合 計		17,317,000

※次のページで、事業の一部を写真等で紹介します。(表の写真番号は次ページの写真)

地域振興

①



昨年度、ウェブサイトの大幅な改修を行いました。今年度も地域の様々な活動や行事を紹介できるよう取り組んでいます。

地域振興

②



昨年度は食を通じた交流事業を地域交流センターと共催で開催しました。引き続き地域の人材発掘に努めています。

地域福祉

③



多世代で楽しむグラウンドゴルフ大会!!今年度は4回目となり、新たな交流をたくさん生み出しています。

安心・安全

④



昨年度は周防大島町で防災視察研修を行いました。今後、各町内会・自治会において自主防災組織の立ち上げを推進しています。

安心・安全

⑤



こども110番の家の設置や、セーフティネットワーク活動などを通じて、地域で見守り活動を行っています。

環境づくり

⑥



交通事故の防止に向けた交通安全施設の設置助成を進めています。

環境づくり

⑦



良城小児童のホタル委員が大事に育てた幼虫の放流を行うなど、「ホタルが飛び交うふるさと吉敷」に取り組んでいます。

環境づくり

⑧



河川一斉清掃や花いっぱい運動など、環境に関する活動を各町内会・自治会に呼びかけながら進めています。

地域個性創出

⑨



秋の収穫を祝い、また、文化活動の成果発表の場としての「ふるさとまつり」。今年は11月13日開催です。

紙面の都合で、全ては紹介できませんでしたが、「あつ、これ知ってる」と思っていただけで嬉しいです。吉敷のことに興味を持っていただき、「これなら一緒にできるかもしれない」と思われたなら、ぜひ、あなたも参加してみませんか?
役員・事務局一同、地域の皆さんが気軽に立ち寄れる協議会を目指して、笑顔いっぱいでお迎えします。

地域個性創出

⑩



良城小児童の協力を得て編集される地域散策ガイドブックは、今年度発刊の予定です。第1章はウェブサイトにも掲載しています。

地域個性創出

⑪



交通安全や防犯対策のチラシを配布する啓発活動をはじめ、登下校時の交通立哨や講習会などに取り組んでいます。

イニフオメーニン

夏休み講座

次の①から⑥までの夏休み講座を開催します。ふるさとにご参加ください！

【一次申込】7月4日(月)～8日(金)

【申込方法】下部の申込書にご記入のうえ、地域交流センターまでお持ちください。電話での申し込みはできません。一次申込は2講座までとします。

【二次申込】7月11日(月)以降

【申込方法】電話での申し込みも可能です。一次申込期間で2講座申し込みました方も、3講座以上の申し込みが可能です。

※受付時間はいずれも8時30分から17時15分までです。

【申込・問い合わせ】地域交流センター
☎083-922-3915

①親子健康クッキング

親子で楽しめる栄養満点の朝ごはん作りに参加しませんか！

【とき】7月22日(金)10時～12時

【場所】地域交流センター 調理室

【講師】食生活改善推進委員

【対象】幼稚園から小学生までの子どもと保護者 15組

【参加費】大人200円 子ども100円

【準備】エプロン、三角巾

②こども絵画教室

夏休みの宿題の絵をみんなで描きませんか！

【とき】7月25日(月)・28日(木)9時～12時

※できた人から解散

【場所】地域交流センター 講座室(25日)、講堂(28日)

【講師】佐々木範子氏(佐畑)

【対象】小学生20名(各回)

※小学生未満は保護者同伴

【参加費】無料

【準備】筆記用具、クレヨン、色鉛筆、水彩絵具セット、雑巾、絵画の参考にする資料等



③ソーメン流しとすいか割り大会

みんなで夏休みの風物詩を楽しみませんか！

【とき】8月1日(月)10時～12時

【場所】地域交流センター

【対象】子どもと保護者 30名程度
※小学生未満は保護者同伴

【参加費】3歳以上200円

【準備】そうめん1人一束、箸、お椀

【共催】こどもステーション山口

④大内塗「箸」づくり体験教室

山口の伝統工芸「大内塗」を体験しませんか？オリジナルの「箸」を作ります！

【とき】8月2日(火)10時～12時

【場所】地域交流センター 講堂

【講師】山口ふるさと伝承総合センター職員

【対象】小学生 25名

※1、2年生は保護者同伴

【参加費】無料

【準備】汚れてもよい服装



⑤こども陶芸教室

世界にたった一つのオリジナル茶碗や湯飲み作りに挑戦してみませんか？

【とき】8月5日(金)10時～12時

【場所】地域交流センター 講堂

【講師】田口潤氏(中尾)

【対象】小学生 15名

【参加費】無料

【準備】汚れてもよい服装、絵皿に描く絵の手法となる資料等



切り取り

＜夏休み講座申込書＞

ふりがな氏名	(第 学年)	
保護者氏名		
住所	山口市	
電話	() -	
希望講座番号		

※複数必要な場合は、コピーしてお使いください。

⑥電気工作教室

マイナス19.6℃の世界を体験してみませんか？LED電球が光るLEDコースターゴマを作ります！

【とき】8月17日(水)10時～12時

【場所】地域交流センター 調理室

【講師】中国電力山口営業所職員

【対象】小学生(3～6年) 25名

【参加費】無料

【準備】はさみ、カッター、定規、のり



あっちこっちdeアート2016

こまのたけちゃんのあそびあそび!

【とき】7月11日(月)18時開演
7月16日(土)10時開演

※各回15分前開場

【場所】地域交流センター 講堂

【主催】こどもステーション山口

【共催】地域づくり協議会

【申込・問い合わせ】地域づくり協議会

☎083-922-3344



母子相談

お子様の身体測定や、育児・離乳食に関することなど、保健師と栄養士が相談をお受けします。お友達づくりを兼ねて気軽にお越しください。なお、お越しの際には、母子健康手帳をお持ちください。

【とき】7月13日(水)13時30分～14時30分(受付時間)

【場所】地域交流センター 和室

【問い合わせ】市保健センター

☎083-922-1266

子育て講座(小児救急)

いざという時に幼児を守るための小児救急について、一緒に学びませんか?

【とき】7月14日(木)10時～12時

【場所】地域交流センター 和室

【講師】市消防本部職員(救急救命士)

【対象】乳幼児の保護者 20名

※託児あります。

【参加費】無料

【主催】母子保健推進員、つどいの広場

【楽楽楽】市保健センター

【申込】地域交流センター

☎083-922-33915



夜間巡回

青少年の安全確保・非行防止のため、夏休み期間中に青少年健全育成協議会による夜間巡回を実施します。

地域の皆様のご理解とご協力をよろしく願います。

【期間】7月15日から8月20日までの金・土曜日の夜間(お盆は除く)

【ルート】地域交流センター→赤田神社→上東第2公園→維新公園→鴻南中学校→良城小学校→地域交流センター

【問い合わせ】青少年健全育成協議会

☎083-922-33915

コラスCOCO

10周年コンサート

コラスCOCOは、吉敷地区在住の方を中心に、歌好きのみなんで結成したグループで、毎週火曜日の午後、地域交流センターで活動しています。

今年は結成10周年にあたり、コンサートを開催することになりました。どうぞお越しください。

【とき】7月30日(土)14時～(開場13時30分)

【場所】クリエイティブスペース赤れんがホールⅡ(2F)

【入場料】無料(入場申込等不要)

【問い合わせ】秋貞佳子(中村)

☎083-932-5446

7月の予定

10日(日)	参議院議員通常選挙
11日(月)	あっちこっちdeアート2016
13日(水)	母子相談
14日(木)	子育て・「楽楽楽」講座
16日(土)	あっちこっちdeアート2016
21日(木)	ふれあい給食
22日(金)	親子健康クッキング
24日(日)	早朝河川一斉清掃
25日(月)	こども絵画教室(第1回)
28日(木)	こども絵画教室(第2回)

8月の予定

1日(月)	ソーメン流しとすいか割り大会
2日(火)	大内塗「箸」づくり体験教室
5日(金)	こども陶芸教室
13日(土)	よしき夏まつり
17日(水)	電気工作教室
18日(木)	ふれあい給食

放課後児童クラブもみじ学級 支援員・補助員急募

【支援員】時給980円/保育士資格、幼稚園・学校教諭免許をお持ちの方
【補助員】時給880円/資格・免許は必要ありません。

【募集人員】いずれも若干名

【勤務場所】良城小学校グラウンド西側

【勤務期間】7月21日(木)～8月31日(水)

【勤務時間】月曜日～土曜日(祝日除く)7時45分～18時15分の間で5.5時間程度

【応募方法】7月15日(金)までに市販の履歴書をご持参ください。

【申込・問い合わせ】地区社会福祉協議会

☎083-922-3344

レポ。ト

男性料理ブーム到来か!?

5月20日(金)、恒例行事の「男性料理教室」を開講し、定員いっぱい15人の参加がありました。

この日は「野菜がたくさんおいしく食べられるレシピ」ということで、アスパラの豚巻きや小松菜とキャベツのわさび酢和えなどを調理、食生活改善推進員さんの指導のもと、手軽に分かる肥満度の計算も行いました。

参加された男衆は、悪戦苦闘しながらも、最後は満足顔で力作を食べ、会話を楽しみ、来年2月に予定されている次の教室での再会を固く誓い合いました。



快晴のもと、熱戦!

5月22日(日)、晴天のもと第5回「親睦グラウンドゴルフ大会」を維新公園ちよる広場で開催しました。

この大会は、9月の市民体育大会への出場権もかけ、各町内会から約80人、平均年齢75歳の参加者が熱戦を繰り広げました。

「打ごとに一喜一憂される表情を見てみると、童心そのものでした。何歳になっても熱中してやれることがある。この大切さを強く感じました。」

上位入賞者(市民体育大会出場者)
第1位 松崎 幸夫さん (稲葉町)
第2位 齋藤 昭司さん (上東)
第3位 中井手 純子さん (吉敷畑)
第4位 中川 洋二さん (上東)
第5位 松富 登志子さん (木崎)
第6位 村岡 哲雄さん (上東)



リズムに合わせて健康づくり

5月25日(水)、「チャレンジデー2016」が開催され、見事、神奈川県座間市に勝利しました!地域交流センターでも「チャレンジデーin吉敷」を開催、参加者全員でダンスを踊り、楽しいスポーツイベントとなりました。ご参加いただきました皆さん、大変ありがとうございました。

ゲンジボタルを採取

5月31日(火)、日が暮れてから、良城小学校ホタル委員会の児童19名(5年生10名、6年生9名)と西元校長先生、担当教員の大上先生をはじめ多くの先生方、児童の保護者、地域の方々も一緒に、吉敷川護岸で天然記念物ゲンジボタルを採取しました。

委員会では、ホタルの保護、増殖のための飼育に取り組んでおり、この日採取したホタル(メス69匹、オス10匹)は、小学校の飼育小屋で大切に育てられ、9月7日(水)の「ホタル放流の集い」では、およそ1万5千匹の幼虫を放流する予定です。



交通安全教室が開講

6月9日(木)、良城小学校において、山口交通安全協会吉敷分会の皆様の指導のもと、「交通安全教室」が開講されました。小学3年生の児童は、自転車、乗り方や交通マナーなどを優しく教えていただきました。

小学生の皆さん、黄色い服を着て立哨している地域の方を見かけたら、元気にあいさつしましょうね!



吉敷ふるさと文化振興委員会が市広報テレビ番組で地域を紹介

6月14日(火)、良城小学校や天神山公園などにおいて、市広報番組「やまぐちしま専科」の収録が行われました。番組は、「明治維新150年の史跡を訪ねて—吉敷地域を巡る—」と題して、幕末維新を中心とした地域の歴史がとりあげられます。収録には、ふるさと文化振興委員会の松原清委員長(稲葉町)も参加され、地域散策ガイドブック作成など、地域づくりの取り組みも紹介されます。

【放送】7月6日(水)、13日(水)、20日(水)、27日(水)9時55分から(YAB山口朝日放送)

シリーズ 偉人 2

所郁太郎の偉大な人物像



「何遠亭」を配し、この春に新装成った湯田の井上公園は、二年後に明治維新一五〇年を迎える観光名所の一つである。公園正面には威風天を衝く井上馨の銅像、その右側には、つましやかな所郁太郎の顕彰碑が見える。

所郁太郎は、天保九年（一八三八）、美濃の国赤坂村（岐阜県大垣市）で代々醸造を営む名望家、矢崎宗右衛門亦一の四男として出生、郁四郎と命名された。二歳で、同西方村の医師、所伊織の養子となり、郁太郎と改名、五十二歳頃まで、養母の兄で漢学者の横山三川に君子の学の基礎を学び、十五歳の時、外科に長じ、詩文にも優れた青木養軒の門に入り蘭学を修めた。

一八歳で京都に出て、蘭学者として著名な安藤桂州の門に入った所郁太郎は、その異才を買われ、蘭語の医学書をはじめ、砲術・天文・文学の翻訳を手伝い、蘭学への自信を高めた。

二二歳で、かつての長州藩士で蘭学者の伊藤慎蔵に引かれて越前大野（福井県）の「洋学館」に学び、その推薦により、大阪の緒方洪庵の「適塾」で蘭方医学を究めた。また京都では、同郷の漢詩人、梁川星巖の薫陶を受けて国事に奔走するようになり、以来、長州の志士と交流、文久二年（一八六二）五歳で長州藩に召し抱えられた。この間郷里のたつと結婚、後に一女を設けた。

文久三年（一八六三）八月二十六日、七卿落ちに随従して憧れの長州に下った。

更に、翌元治元年（一八六四）には再び上洛、「禁門の変」に敗れて再度長州に下った。彼は、長州藩の遊撃隊参謀、医院総長を兼ね、居を吉敷新町に定めて医院を開業し、幕末騒擾のなか高杉晋作、大村益次郎などを支えた。

同年九月二五日には、湯田中讃井の袖解橋で、井上聞多（のち馨、二九歳）が暴漢に切り付けられ、瀕死の重傷を受けた。急ぎ駆け付けた所郁太郎は、刀のさげ緒をたすきに掛け、身支度を整え、適塾の仲間二人の協力を得て、焼酎で血だらけの傷を洗い、あり合わせの小さな量針で傷口を縫い始めた。縫合は、六か所五〇数針に及んだという。それから幾十日、母の必死の看護と所医師らの手厚い処方で、井上は九死に一生を得た。（井上は

その後八〇歳の長寿を全うした。）

所郁太郎は、慶応元年（一八六五）三月二日、内訌戦のただ中、吉敷の陣中で腸チフスに罹り病没、吉敷上東の三舞墓地に葬られた。享年一八歳。

所郁太郎の臨終を、作家の司馬遼太郎は短編「美濃浪人」でこう描写している。息をひき取った場所は吉敷村の綿谷助衛門の離れであった。近所のお菊という女が看病した。その死の直前、お菊の手をにぎり、彼女の指をもつて畳の上に「一十八年」という文字を書いた。臨終の際には、同志の品川弥二郎（松下村塾出身、のち内務大臣）らが駆け付け、声を振り絞り慟哭したという。

明治三二年（一八九八）、政府は特使をもつて従四位を贈った。

終わりに、所郁太郎の偉業を記念する事物を三点付記する。一点は、昭和五九年に静岡県熱海市に所郁太郎を記念して「所記念病院」が開設されている。二点は、昭和六三年発行の学校図書株式会社「中学国語二」に、司馬遼太郎が、「無名の人」が「生きるすがた」で所郁太郎を取り上げている。三点は、戦前の小学校修身教科書（高学年）に、「母の力」という題で、母親の慈愛の例として取り上げられている。

（所郁太郎顕彰会資料ほか）
吉敷赤田 平和生 著

熊本地震に義援金を贈呈

5月24日（火）、

吉敷自治会と地区社会福祉協議会では、熊本地震の義援金として20万円を日赤山口市地区長の渡辺市長へお渡ししました。

この義援金は、日本赤十字社を通じて被災地に届けられます。



民生児童委員協議会からのお知らせ

「回覧板手渡し・声かけ運動の積極的推進」町の辻で、ご近所さんが集まって話をしていく光景を目にするのは無くなってきました。夕べに、晩のおかずを届けあう光景も減多に見かけません。時代が高度化しても、このような風景が廃れてもいいのでしょうか。

個人情報尊重時代に、残すべき日本のよき文化がある筈です。回覧板の声かけ・手渡し運動で、このかけがえない良い伝統をよみがえらせましょう。

（民生委員K.N）

アロハフラ吉敷(フラダンス)

DATA

【開催日】 第1、第2、第3木曜日 13時～17時

【開催場所】 地域交流センター 和室

【会員数】 8名

地域交流センター登録団体等を紹介するコーナー「よしきで輝く」。

吉敷の皆さんアロハ！梅雨時期が続くなか、地域交流センター2階の和室に近づく、軽快で豊かな音色が聞こえてくる。その音色に誘われるようにアロハフラ吉敷(フラダンス)の活動にお邪魔してきた。

この日は、淑女の皆さんがステキなドレス姿で迎えてくれた。首にかけている綺麗なレイが、ハワイの穏やかな時の流れを感じさせてくれる。

フラダンスを始めたきっかけを聞くと、会員はみな口をそろえて「フラダンスのもつ「しなやかさ」と「美しさ」に惹かれ、また「憧れがあった」という。指導者の木村節子先生も、本場ハワイのフラダンスを目の当たりにし、その「しなやかさ」と「美しさ」に魅了されたお一人だ。

木村先生によれば、フラダンスの先生のことをクムフラというが、クムフラの解釈によってダンスの振りが異なり、振りも奥が深い、思った以上に難しいらしい。フラダンスの効果の一つとして、体幹が鍛えられることによる健康維持効果があると教えていただいた。

活動の一環として、月に1、2回のペースで社会福祉協議会のイベントやいきいきサロン、病院などでもその

ダンスを披露している。見た人に心地よさを与えていることは想像に難くない。

また、インストラクターも輩出しており、年に1回の発表会に向けて、皆で仲良く踊っている。「フラダンスは一人でもできるし、場所もとりません。一緒に踊りませんか。」と代表の三枝隆子さん。

これから暑い日が続く夏がやってくる。そんな今だからこそ一度活動を覗いてみてはどうだろうか。フラダンスの持つ「しなやかさ」と「美しさ」。次に魅了されるのは、あなたかもしれない。



アロハ！一緒に踊りませんか？

かけはし

「よしきを盛り上げよう」

一人暮らしの実家の母が不安になったので、一家で吉敷に転がり込んで(?!)以来、最初こそじっと隠れていたが、何でもつい面白がつちゃう性格が災いし、今では色々な地区役員を引き受けることとなった。

来たるべき将来、我が家も近所の皆さんに見守ってもらい、お世話になることもあるかもしれない。人間は決して一人では生きられないと思う。なので微力ながら、今私にできることをできる範囲でやりたい。

てなわけで、調子に乗って広報委員も引き受けちゃいました。「面白い！」「面白くない！」「どんなご意見もお待ちしています。まずは「ふるさとだより よしき」を読んでください。そしてみんなで話題にしてみよう!!」



上利 典子 画

広報委員 上利 典子

【発行・編集】

吉敷地区広報委員会(〒753-0816 山口市吉敷佐畑一丁目4番1号)

☎083-922-3344 吉敷地区地域づくり協議会

☎083-922-0668 吉敷地域交流センター(行政窓口担当)

☎083-922-3915 吉敷地域交流センター(地域担当)

吉敷地区地域づくり協議会 ウェブサイト

<http://www.yoshikibito.com/>

吉敷地区地域づくり協議会

検索